

## 暖地早期水稲湛水直播栽培に関する研究

### 第2報 播種期と播種量

梅木佳良・坂本真一・江藤博六

(宮崎県総合農業試験場)

本報では1974年～1976年の3ヵ年間にわたって、播種期と播種量について検討した結果の概要を報告する。

#### 1. 試験方法

ムツニシキを供試し、鳩胸～5mm程度の催芽粒を湛水散播した。年次別の播種期と播種量の組合わせは次のとおりである。

1974年：(4/1, 4/12)―(0.3, 0.6, 0.9, 1.2kg/a)

1975年：(4/5)―(0.6, 0.9kg/a)

(4/10, 4/15)―(0.3, 0.6, 0.9kg/a)

1976年：(4/5, 4/10, 4/15)―(0.3, 0.6, 0.9kg/a)

施肥量 (kg/a) は基肥に N 0.4～0.6, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 0.7～0.8, K<sub>2</sub>O 0.5～0.8, 分けつ肥として播種後25～35日目にN 0.2～0.3, 穂肥として出穂前20～25日にN 0.3, K<sub>2</sub>O 0.3を施用した。

水管理は芽干しと中干しを適宜行なった他は常時湛水とした。

雑草防除は初期処理剤, 中期処理剤及び後期処理剤を適宜組合わせて散布し, ほぼ完全に防除できた。

#### 2. 試験結果および考察

結果を要約すると次のとおりである。なお調査成績の

一部を第1表に掲げたが詳細については引用文献1)を参照されたい。

1) 日平均気温12℃以下の出現頻度が20%以下となる時期を播種期の安全早限日とした。各地の播種期の早限日は、宮崎市では4月7日(平年平均気温14.7℃), 延岡市では4月12日(同14.9℃), 日南市では4月6日(同15℃)に相当する。

2) 本県では成熟期の晩限を8月5～10日としているので、出穂期の晩限を7月5～10日とした場合宮崎市における播種期を品種の積算温度より推定すると次のとおりである。

フジミノリ class—4月7～15日, マツマエ class—4月17～26日, イシカリ class—4月22～30日, ムツニシキ class では播種期の早限に播種した場合の予想出穂期は7月7日で, 7月10日までに収穫させるためには4月12日までに播種しなければならない。

3) 苗立ち数が多いほど穂数が多く増収したが倒伏しやすいので, ムツニシキの場合, 適正苗立ち数はm<sup>2</sup>当たり150本前後で, 苗立歩合を60%と仮定した場合のa当り播種量は0.6～0.65kgである。

#### 引用文献

- 1) 宮崎総合農試：水管理を中心とした暖地早期水稲の生産性向上に関する研究(総合成績書昭49～51年), (1978)。

第1表 気温と苗立ち

播種年月日 項目	1974年		1975年			1976年		
	4/1	4/12	4/5	4/10	4/15	4/5	4/10	4/15
気温(℃)	13.6	16.6	15.4	16.1	17.7	12.0	16.5	17.0
苗立歩合%	19	49	80	79	67	46	59	50
苗腐病	甚	少	少	少	無	中	少	無

注) 気温は播種後1～5日の平均気温の平均